

富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第283号

目 次

関係法令..... 2	者) 研修..... 9
学内規則..... 3	海外渡航者..... 11
富山大学学則の一部改正..... 3	昭和62年度春季国立11大学経済・経営学部長及
富山大学地域共同研究センター規則の制定..... 3	び事務長会議の開催..... 11
富山大学地域共同研究センター長及び教員選考	昭和62年度卒業予定者のための就職事務につい
規則の制定..... 4	て..... 12
諸会議..... 5	シリーズ「富山大学, あの日あの頃」(13)
学事..... 6	老生の追憶 その2..... 12
昭和62年度科学研究費補助金交付内定者..... 6	職員消息..... 13
昭和62年度科学研究費補助金申請・採択状況..... 7	主要行事..... 14
昭和62年度文部省在外研究員派遣予定者の決定... 8	資料..... 17
人事異動..... 8	昭和61年度卒業生就職状況..... 17
学内諸報..... 9	
昭和62年度富山県内国立学校等事務職員(初任	

 関 係 法 令

法 律

- 恩給法等の一部を改正する法律 (31) 5・29
 (注) 恩給年額の計算の基礎となる仮定俸給年額を昭和62年4月以降、2%引き上げること。普通恩給等の最低保障額の増額等の改正が行われた。
- 行政機関職員定員令及び沖縄の復帰に伴う行政機関の職員の定員に関する法律の適用の特別措置に関する政令の一部を改正する政令 (139) 5・21
 (注) 総理府及び各省等の職員の定員の改正が行われ、文部省関係は115,024人、うち111,995人は、国立学校の職員の定員。
- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (148) 5・21
 (注) 千葉大学の生物活性研究所を廃止することとした。東北大学金属材料研究所を共同利用の研究所とすること。国立大学共同利用機関とし、国際日本文化研究センターを設置する等の改正が行われた。
- 国家公務員宿舎法施行令の一部を改正する政令 (180) 5・29
 (注) 国家公務員宿舎の一平方メートル当りの基準使用料の額の引き上げが行われた。

省 令

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部13) 5・16
 (注) 学部学科及び附置研究所に寄附講座及び寄附研究部門を設けることができる等の改正が行われ、それに係る経費は、国立大学の学長に経理を委任された金額をもって支弁することとした。
- 国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令 (文部14) 5・16
 (注) 機関 (機構に置かれる研究所を含む。) に寄附研究部門を設けることができる等の改正が行われ、それに係る経費は、機関の長に経理

を委任された金額をもって支弁することとした。

- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部15) 5・21
- 文部省定員規則の一部を改正する省令 (文部16) 5・21
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部17) 5・21
 (注) 千葉大学に真核微生物研究センター、富山大学及び熊本大学に地域共同研究センター、神戸大学に共同研究開発センター等の設置が行われた。
- 大学入試センター組織運営規則の一部を改正する省令 (文部18) 5・21
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (文部19) 5・21
- 国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令 (文部20) 5・21
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令 (文部21) 5・21
- 義務教育費国庫負担法第2条但書の規定に基き教職員給与費等の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則及び公立養護学校整備特別措置法施行規則の一部を改正する省令 (文部22) 5・21
- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵28) 5・29

規 則

- 人事院規則15-9 (宿日直勤務) の一部を改正する人事院規則 (人事院15-9-1) 5・21
- 人事院規則16-3 (災害を受けた職員の福祉施設) の一部を改正する人事院規則 (人事院16-3-6) 5・21

告 示

○昭和63年度科学研究費補助金の計画調書の提出期間を定める件（文部53）

5・15

官庁報告

○昭和62年度国家公務員採用II種試験公告（人事院）

5・6

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭秋62年 5 月21日

富山大学長 大井 信一

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年 3 月12日制定）の一部を次のように改正する。

第 9 条 第 1 項中「トリチウム科学センター」を「トリチウム科学センター 地域共同研究センター」に

改める。

第15条 第 2 項中「トリチウム科学センター」を「トリチウム科学センター及び地域共同研究センター」に改める。

附 則

この学則は、昭和62年 5 月21日から施行する。

▶富山大学学則の改正理由

富山大学に学内共同教育研究施設として、富山大学地域共同研究センターが設置されるため、所要事項を改める。

富山大学地域共同研究センター規則の制定

富山大学地域共同研究センター規則を次のとおり制定する。

昭和62年 5 月21日

富山大学長 大井 信一

富山大学地域共同研究センター規則

（趣 旨）

第 1 条 この規則は、富山大学学則第 9 条第 2 項の規定に基づき、富山大学地域共同研究センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（目 的）

第 2 条 センターは、学内共同教育研究施設として、民間等外部の機関（以下「民間機関等」という。）との共同研究及び民間機関等の技術者に対する技術教育等を推進する場として資することを目的とする。

（職 員）

第 3 条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

第 4 条 センターに専任の教員、その他必要な職員を置く。

2 センター長及び専任の教員の選考に関し必要な事項は、別に定める。

（運営委員会）

第 5 条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、富山大学地域共同研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第 6 条 運営委員会は、センターにおける次に掲げる事項を審議する。

- (1) 民間機関等との共同研究及び受託研究に関すること。
- (2) 民間機関等の技術教育の援助、協力及び研究開発等に係る技術相談に関すること。
- (3) 民間機関等に対する学術情報の提供に関すること。
- (4) 学内の共同研究に関すること。
- (5) センター長及び専任の教員の人事に関すること。
- (6) 予算等に関すること。
- (7) その他センターに関する必要な事項（運営委員会の組織等）

第7条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。ただし、前条第5号に掲げる事項を審議するときは、第2号の委員のうち助教授以下の委員を除く。

- (1) センター長
- (2) センターの専任の教員
- (3) 理学部の教授 4名
- (4) 工学部の教授 8名
- (5) 教育学部、教養部及びトリチウム科学センターの教授 各1名

2 前項第3号から第5号までの委員は、当該学部、教養部及びトリチウム科学センターの長の推薦に基づき、学長が命ずる。

第8条 前条第1項第3号から第5号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第9条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を召集し、その議長となる。ただし、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を行う。

(運営委員会の議事)

第10条 運営委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開会できない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。

3 運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

第11条 運営委員会に、専門の事項を調査検討する必要があるときは、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、委員長が別に定める。

(庶務)

第12条 センターの庶務は、当分の間、工学部事務部において処理する。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、センターに関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、昭和62年5月21日から施行する。ただし、この規則の施行日前に「富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項」に基づいて行われたセンターに関する議決事項は、この規則に基づいて行われ

たものとみなす。

▶富山大学地域共同研究センター規則の制定理由

富山大学に学内共同教育研究施設として、富山大学地域共同研究センターが設置されるため、所要事項を定める。

富山大学地域共同研究センター長及び教員選考規則の制定

富山大学地域共同研究センター規則を次のとおり制定する。

昭和62年5月21日

富山大学長 大井 信一

富山大学地域共同研究センター長及び教員選考規則 (趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学地域共同研究センター規則第4条第2項の規定に基づき、富山大学地域共同研究センター（以下「センター」という。）の長及び教員の候補者の選考に関し、必要な事項を定めるものとする。

(センター長候補者の選考)

第2条 センター長候補者の選考は、富山大学地域共同研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の推薦に基づき、学長が行う。

2 運営委員会は、前項の推薦に当たって、本学の教授のうちから選定するものとする。

(センター長候補者の選考時期)

第3条 センター長候補者の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- (1) センター長の任期が満了するとき。
- (2) センター長が辞任を申し出たとき。
- (3) センター長が欠員になったとき。

2 前項第1号に該当する場合の選考は、任期満了の30日前までに、同項第2号又は第3号に該当する場合は、速やかにこれを行わなければならない。

(センター長の任期)

第4条 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(教員候補者の選考)

第5条 教員候補者の選考は、運営委員会の議を経て、学長が行う。

(選考委員会)

第6条 運営委員会は、教員候補者を選考する場合、選考委員会を設ける。

2 選考委員会は、センター長及び運営委員会が選出した教授(原則として4名)をもって構成する。

3 選考委員会は、富山大学教員資格基準により教員候補者を審査、選定し、運営委員会に報告する。

(教員候補者の内申)

第7条 運営委員会は、前条第3項の教員候補者について可否を決定する。議決は、構成員の3分の2以上出席する会議において、その3分の2以上の同意を

を要するものとする。

2 センター長は、運営委員会において決定した教員候補者を、学長に内申する。

附 則

この規則は、昭和62年5月21日から施行する。

▶富山大学地域共同研究センター長及び教員選考規則の制定理由
新設の富山大学地域共同研究センターのセンター長及び教員選考に関し、所要事項を定める。

諸 会 議

昭和62年度第2回評議会(5月15日)

(審議事項)

- (1)富山大学学則の一部改正について
- (2)富山大学学長選考規則の制定について
- (3)富山大学学長選考実施細則の制定について
- (4)昭和63年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う基本方針について

(1)事務改善について

第3回総合大学院検討委員会(5月22日)

(議 題)

- (1)総合大学院について

昭和62年度第2回授業料等減免選考委員会(5月18日)

(議 題)

- (1)昭和62年度前期分授業料免除者の選考について

(審議事項)

- (1)情報処理センター規則の改正について
- (2)昭和63年度歳出概算要求について

昭和62年度事務協議会(5月20日)

(議 題)

- (1)当面の諸問題について

第7回富山大学自然観察実習センター運営委員会(5月27日)

(議 題)

- (1)昭和62年度利用計画について
- (2)昭和62年度運営費について
- (3)整備計画について

事務改善委員会(5月20日)

(議 題)

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

学 事

昭和62年度 科学研究費補助金交付内定者

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		62年度	63年度	64年度
核融合特別研究	トリチウム科学センター	教授	渡辺 国昭	増殖トリチウムの回収—精製—貯蔵材としてのZr系ゲッター材の特性	7,000		
重点領域研究	理学部	〃	高木光司郎	振動励起分子の広掃引レーザーシュタルク分光	1,800		
総合研究(A)	人文学部	〃	秋山 進午	北陸地方における古代手工業生産史の研究	4,000	3,000	1,000
一般研究(A)	理学部	〃	小黑 千足	脊椎動物における血液塩、特にCa、Na、K濃度の内分泌系による制御とその進化	1,100		
一般研究(B)	教育学部	〃	林 良重	盲学校理科Iの指導用モジュール教材と学習材の開発とその実践化	1,200		
	人文学部	〃	小谷 仲男	東アジア史における文化伝播と地方差の諸相	500		
	教養部	助教授	石川 義和	高い近藤温度をもつ高濃度近藤物質の研究	600		
	理学部	〃	尾島 十郎	新しい大環状共役化合物の合成と物性に関する研究	1,500		
	〃	〃	氏家 治	近畿および中部地方の玄武岩質火山岩類の比較岩石学的研究	400	500	
	〃	助手	川田 邦夫	雪中に含まれる火山灰起源の磁性粒子の挙動	2,100	1,000	
	〃	助教授	菅井 道三	プロトプラストを用いたシダ生殖器官の分化に関する研究	4,000	1,000	
	〃	〃	鳴橋 直弘	ヘビイチゴ属の種分化と進化	1,000	900	1,000
一般研究(C)	人文学部	教授	梶井 陟	日本と朝鮮における近・現代文学の相互交渉に関する史的検証	300		
	教養部	助教授	鈴木 邦雄	日本産カワトンボ属(トンボ目・カワトンボ科)の進化分類学的研究	400		
	〃	教授	藤井 昭二	松島湾及び北上川下流域における完新世の海水準変動	400		
	教育学部	助手	丸山 茂徳	低圧/高圧変成相系列における塩基性岩の鉱物の累進変化	500	200	
	工学部	教授	吉田 順作	新しいスパッタ法による垂直磁気記録用薄膜の高速作成	400		
	〃	講師	穴田 博	Al-Mg合金鑄塊に生ずる羽毛状晶組織の生成機構とその変形特性についての検討	1,400		
	教育学部	教授	神谷 重徳	脳波・誘発電位を示標とする知能障害児の教授・学習法の事例的研究	800	1,000	
	経済学部	助教授	火原 克二	結合会計の有用性	800		
	教養部	教授	中越 矩方	代数体の類群, 単数の代数的・解析的研究	900		
	理学部	助教授	東川 和夫	双正則不変計量の研究	1,500		
	〃	助手	吉田 尚弘	生物起源有機物の酸素同位体比の測定	1,400		
	〃	〃	笹山 雄一	硬骨魚の血液燐レベルに及ぼすカルシトニンの影響: 体各部の血液における差	1,800		
	教養部	教授	小林 武彦	広域テフラ層をもちいた「乗鞍火山帯」の火山活動史研究	1,000	300	
	工学部	講師	岩城 敏博	赤外線光弾性法による半導体単結晶の残留応力測定	1,000		
	〃	助教授	宮下 尚	流路内伝熱促進機構	1,500	400	
	トリチウム科学センター	講師	松山 政夫	無担体トリチウムガスのin-situ 測定用電離箱検出器の開発	1,800	400	

奨励研究(A)	人文学部	助教授	榎木 謙周	古代社会における技術労働編成の研究	800		
	"	"	服部 良久	ドイツ中世における国家権力の形成とその社会的基礎	900		
	理学部	助手	笠原 一世	水溶液中におけるイオン会合体の生成とその抽出および吸着に関する基礎的研究	900		
	教養部	講師	菊川 茂	昆虫の発育・変態にかかわる幼若・脱皮ホルモンの分泌制御機構の研究	900		
	教育学部	"	神川 康子	日常生活における脳幹賦活力の測定(α -attenuationの観察)	900		
	"	助教授	山西 潤一	LOGOを用いた認知機能訓練用システムの開発研究	800		
試験研究(1)	トリチウム科学センター	教授	渡辺 国昭	トリチウム計測用質量分析計の開発	4,100		

昭和62年度科学研究費補助金申請・採択状況

(単位:千円)

研究種目	部局名	人文学部		教育学部		経済学部		理学部		工学部		教養部		トリチウム科学センター		計		採択率%
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
がん特別研究	申請																	
	採択																	
特別推進研究	申請																	
	採択																	
核融合特別研究	申請							1	3,601					1	7,425	2	11,026	
	採択							0	0					1	7,000	1	7,000	50
重点領域研究	申請							3	9,621	1	2,525	1	1,650			5	13,796	
	採択							1	1,800	0	0	0	0			1	1,800	20
特定研究	申請																	
	採択																	
総合研究(A)	申請	1	9,510			1	3,252					1	1,330			3	14,092	
	採択	1	4,000			0	0					0	0			1	4,000	33.3
総合研究(B)	申請																	
	採択																	
一般研究(A)	申請							(1) 2	(1,100) 22,140	1	15,603					(1) 3	(1,100) 37,743	
	採択							(1) 1	(1,100) 1,100	0	0					(1) 1	(1,100) 1,100	33.3
一般研究(B)	申請	(1) 2	(500) 3,051	(1) 3	(1,200) 13,950			(2) 11	(1,900) 48,798	6	36,434	(1) 4	(600) 18,129	2	10,714	(5) 28	(4,200) 131,076	
	採択	(1) 1	(500) 500	(1) 1	(1,200) 1,200			(2) 5	(1,900) 9,000	0	0	(1) 1	(600) 600	0	0	(5) 8	(4,200) 11,300	28.6
一般研究(C)	申請	(1) 7	(300) 9,422	(1) 11	(500) 21,470	2	1,462	29	70,676	(2) 23	(1,800) 45,176	(2) 11	(800) 11,811	1	2,468	(6) 84	(3,400) 162,485	
	採択	(1) 1	(300) 300	(1) 2	(500) 1,300	1	800	3	4,700	(2) 4	(1,800) 4,300	(2) 4	(800) 2,700	1	1,800	(6) 16	(3,400) 15,900	19
奨励研究(A)	申請	3	3,415	4	4,344	3	2,682	7	8,159	4	4,769	4	4,500			25	27,869	
	採択	2	1,700	2	1,700	0	0	1	900	0	0	1	900			6	5,200	24
試験研究	申請												(1) 2	(5,689) 10,969	(1) 2	(5,689) 10,969		
	採択												(1) 1	(4,100) 4,100	(1) 1	(4,100) 4,100		50

計	申請	(2) 13	(800) 25,398	(2) 18	(1,700) 39,764	6	7,396	(3) 53	(3,000) 162,995	(2) 35	(1,800) 104,507	(3) 21	(1,400) 37,420	(1) 6	(5,689) 31,576	(13) 152	(14,389) 409,056	23
	採択	(2) 5	(800) 6,500	(2) 5	(1,700) 4,300	1	800	(3) 11	(3,000) 17,500	(2) 4	(1,800) 4,300	(3) 6	(1,400) 4,200	(1) 3	(4,100) 12,900	(13) 35	(12,800) 50,400	
採 択 率 (%)		38.5		27.8		16.7		20.8		11.4		28.6		50		23		

(注) () 内数字は継続を内数で示す。

昭和62年度文部省在外研究員派遣予定者の決定

種 類	学部名	職 名	氏 名	主たる滞在地名及び当該滞在地の属する国名	調査研究題目	派遣期間
長期(乙)	理学部	助教授	山口 晴司	タラハッシー (アメリカ合衆国)	新しい手法による天然有機化合物の合成	12 月

人 事 異 動



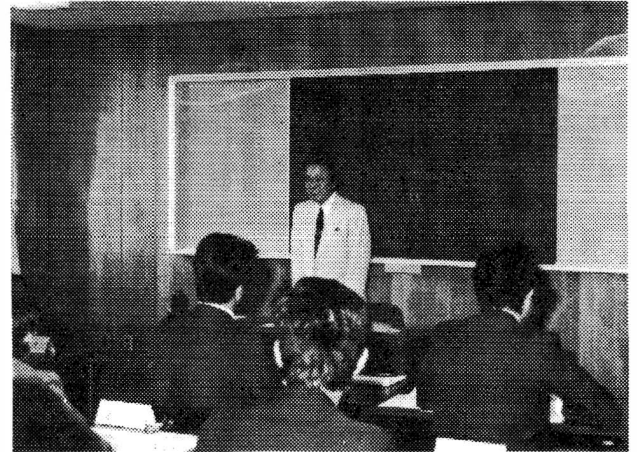
異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	62. 6. 1	横 田 尚 子		文部技官(工学部)	富山大学長
昇 任	"	高 瀬 均	助手(工学部)	講師(工学部)	"
	"	山 本 健 市	文部技官(工学部)	助手(工学部)	"
配 置 換	62. 5. 21	黒 田 正 男	事務局付	入学主幹	文 部 大 臣
	"	奥 村 行 夫	学生課 入学試験係長	入学主幹付 入学試験係長	富山大学長
	"	堀 和 實	学生課 入学試験係 入学試験主任	入学主幹付 入学試験係 入学試験主任	"
	"	寺 林 忠 男	文部事務官(学生課)	文部事務官(入学主幹付)	"
	"	田 島 順 子	事務補佐員(学生課)	事務補佐員(入学主幹付)	"
	併 任	62. 5. 2	三 寶 政 美	教授(人文学部)	人文学部長・評議員(62. 5. 2~64. 5. 1)
"		吉 田 清	教授(人文学部)	評議員(62.5.2~64.5.1)	"
"		小 谷 仲 男	教授(人文学部)	評議員(62.5.2~64.5.1)	"
"		後 藤 克 己	教授(理学部)	評議員(62.5.2~64.5.01)	"
"		松 本 賢 一	教授(理学部)	評議員(62.5.2~64.5.1)	"
62. 5. 9		灘 澤 弘	教授(教養部)	学生部長・評議員(62. 5. 9~64. 5. 8)	"
62. 5. 21		宮 下 和 雄	教授(工学部)	地域共同研究センター長(62. 5. 21~64. 5. 20)	"
62. 6. 1		渡 辺 一 郎	教授(教育学部)	評議員(62.6.1~64.5.31)	"
"		加 瀬 正 二 郎	教授(教育学部)	評議員(62.6.1~64.5.31)	"
"		高 辻 雄 三	教授(工学部)	評議員(62.6.1~64.5.31)	"
"		多 々 静 夫	教授(工学部)	評議員(62.6.1~64.5.31)	"
職務命令	"	高 田 正 道	文部技官(経理部経理課自動車運転手)	経理部経理課副車庫長を命ずる	富山大学長
	"	森 田 憲 治	文部技官(経理部経理課自動車運転手)	経理部経理課副車庫長を命ずる	"

学 内 諸 報

昭和62年度富山県内国立学校等事務職員(初任者)研修

昭和62年度富山県内国立学校等事務職員(初任者)研修が、去る5月25日(月)から5月28日(木)までの4日間富山大学事務局中会議室において実施されました。

本研修は、富山大学、高岡短期大学、富山工業高等専門学校、富山商船高等専門学校及び国立立山少年自然の家の5機関合同研修として、それぞれの機関に新たに採用等となった者に対して国民全体の奉任者としての国家公務員の使命と心構えを自覚させると共に、職員としてこれからの文部行政に共通して必要な職務遂行上の基礎的な知能・技能・態度を養成し、併せて文部省機関職員としての一体感を培うことを目的としたもので、受講者及び研修日程は次のとおりです。



1. 受講者

富山大学

庶務部 (庶務課文書係)	文部事務官	草島 伸雄
経理部 (経理課出納係)	実務研修生	木下 晋
施設課 (工営係)	文部技官	槻 光雄
(")	"	津島 康二
教育学部 (学務係)	文部事務官	石塚 久博
" (教室勤務)	"	加藤 尚弘
" (庶務係)	"	松田 晃
工学部 (学務係)	"	林 秀一
" (教室勤務)	文部技官	桐 昭弘
" (経理係)	文部事務官	藤田 一吉
" (工場係)	文部技官	山田 聖
教養部 (会計係)	文部事務官	松田 義弘
" (教務係)	"	大門 聡
附属図書館 (学術情報係)	"	小森 功

高岡短期大学

学生課 (実習係)	文部技官	米川 覚
(")	"	砺波 浩二

富山工業高等専門学校

会計課 (出納係)	文部事務官	久保 均
" (用度係)	"	細田 和義
学生課 (教務係)	文部技官	中井 勝巳
(")	実務研修生	倉田 実

富山商船高等専門学校

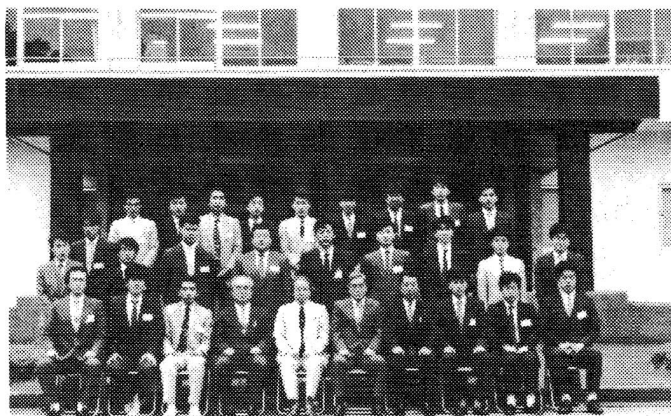
会計係 (施設課)設	文部事務官	有沢 隆一
学生課 (教務係)	"	荒井 誠一
" (学生係)	"	山本 徹

国立立山少年自然の家

事業課 (業務係)	文部事務官	飯野 久義
(")	"	渡邊 敏明

2. 研修日程

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
5月25日(月)	開講式 オリエンテーション及び自己紹介									
	「行政組織と国立学校等の現況について」 庶務部長 西垣 登									
5月26日(火)	執務の基礎知識I 「事務電算化の実務について」 経理課情報処理係長 森井 正									
	執務の基礎知識II 「経理事務の概要について」 主計課課長補佐 結城 進									
5月27日(水)	執務の基礎知識III 「共済組合(短期給付)について」 経理課給与係長 東 敏									
	講 演 「職場における人間関係について」 人文学部教授 山口 博									
5月28日(木)	執務の基礎知識VI 「文書事務の進め方について」 庶務課文書係長 野尻津喜夫									
	講 話 事務局長 西村 清									
5月25日(月)	「学部事務について」 教育学部事務長 土井 盛治									
	公務員制度I 「勤務時間と休暇について」 富山商船高等専門学校庶務課人事係長 斉藤 純一									
5月25日(月)	公務員制度II 「服務・分限・懲戒について」 富山工業高等専門学校庶務課人事係長 能登 功									
	見 学 (富山県に置かれる文部省機関巡り) 富山商船高等専門学校 富山工業高等専門学校 国立立山少年自然の家									
5月27日(水)	記念撮影									
	執務の基礎知識IV 「厚生補導事務の概要について」 学生課課長補佐 森 慶二									
5月27日(水)	執務の基礎知識V 「接遇の知識と実際について」 庶務課庶務係長 岡山 一雄									
	全体討議 「質疑応答」 (アンケート) 人事課課長補佐 本澤 健二									
5月28日(木)	講 話 事務局長 西村 清									
	「高等専門学校等の概要について」 富山工業高等専門学校庶務課長 安藤 滋									
5月28日(木)	講 話 事務局長 西村 清									
	公務員制度III 「給与・災害補償について」 人事課給与係長 五百崎喜明									
5月28日(木)	講 話 事務局長 西村 清									
	閉講式									



海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修旅行	人文学部	教授	富川 盛道	ケニヤ, タンザニア	東アフリカのナイロート系牧 畜民族の歴史的移動に関する 比較調査	62. 5. 30) 62. 6. 20

昭和62年度春季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議の開催

昭和62年度春季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議が、去る5月21日（木）及び22日（金）の両日、富山大学経済学部の当番で開催された。この会議は、富山大学など11大学12学部で構成されているもので、今回は信州大学が初めてオブザーバーとして参加した。

会議は、2日間の日程で富山第一ホテル及び五箇山荘の両会場で行われ、次の協議事項について討議され、

それぞれの大学から情報交換があり、盛会のうちに終了した。

- 1 国際交流における大学間の問題点について
- 2 第7次定員削減に対する対応について
- 3 昭和62年度入学試験について
- 4 課外活動による社会的損傷事故に対する対応について



昭和62年度卒業予定者のための就職事務について

このことについて、学生部長から教職員に対して、次のとおり協力方依頼がありました。

就職協定の遵守について

大学卒業予定者の選考開始時期等については、就職問題懇談会（国立大学協会等9団体で構成）において決定された「大学及び高等専門学校卒業予定者のための就職事務に関する申し合わせ」いわゆる就職協定に基づいて実施しているところですが、昭和62年度については、企業等の説明期間を新規に設ける等新たな申し合わせが行われました。

これを契機に就職秩序の確立を図るため、申し合わせが遵守されるよう、教職員の皆さんの一層の御協力をお願いします。

昭和62年度大学卒業予定者の選考開始時期等

求人申し込みの受理	7月1日以降
求人内容の提示	8月1日以降
企業等の説明開始	8月20日
企業等個別訪問開始	9月5日
採用内定開始	10月15日

シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(13) 老生の追憶 その2 (小寺廉吉先生)

富山大学名誉教授の会 溝上 茂夫

これほどの短篇は文字は縮約、論点は一点に集中すべきもの。しかし現心境はそういうわけにいかなくて再び半纏木についてひとこと。

わが家を出て数歩、早くも日々に緑を増すこの並木。そして樹間のそぞろ歩き。しかしこの間、期せずして小林貞作先生退官の辞「『ユリノキ』は残った」に出会う。これが半纏木、熟読含味。この一篇も並木と共に永久に生き残る。

小寺廉吉先生の追憶

懐かしき小寺先生。古来、去る者日々に疎しと云うけれど、その心全く逆の者も存在する。先生9年間正門からこの道をおはいりになるお姿が私の心に焼きついて今も生きつづけているのです。

61年度秩父宮記念学術賞特別賞に、小寺廉吉・元富山大教授(94)の「庄川上流山村の変貌に関する研究」が選ばれた。学術賞は平安時代に形づくられた山岳信仰の修験道を研究、全体像を明かにした慶応大教授の宮家準(みやけ・ひとし)教授が受ける。……小寺氏は高岡高商の教授時代、庄川水系の岐阜県白川村、富山県平、上平村の地域調査を進め、山村の地理的・歴史的な性格を究明し、社会構造を分析した。

地理学的な立場から客観的に論文をまとめるとともに、民族学的手法で伝統文化にも言及したもので、当時の人文地理学界に新風を送り込んだ。

秩父宮記念学術賞は、故秩父宮殿下が、日本学術振興会の総裁として、わが国の学術振興に尽力されたことを記念して制定され、今年度で23回目の授賞で、特別賞は第4回目以来。2回目。

同賞は殿下が「山」に関して御経験が豊かだったことなどから、人文・社会・自然科学を問わず、「山」に関する科学で顕著な研究業績をあげた研究者、グループを対象としている。(1987. 2. 21北日本新聞の記事引用)

「宗教的心情と進化論的考察を融合した小寺学」(北日本新聞)といわれるが、この学とこの人、不分離にして一体を成す。



因みに小寺先生は大正6年東京高等商業学校専攻部領事科経済地理学専攻ご出身にして勅令による商学士、私は昭和3年広島高等師範学校徳育専攻科卒業倫理学

主専攻、同じく勅令に由る文学士。

先生富大教授ご在任の約10年間はわが富大に大学令に由らず、勅令による学士は先生と私とただ二人であったが、先生お去りになってから残るは私一人となった。昭和43年私退官とともに、かゝる日本教育制度史上の存在はその姿を消す。

先生を桃山学院大学にご招聘申し上げた学長勝部謙造博士は私の哲学の恩師の一人、教え子の私に贈与されたW・ディルタイに関する独文の学位論文は今も私の手元にあり。数々の縁しの想起。

先生94歳、私84歳。先生のお姿若々しくいささかの老いの影なし。

秩父宮妃殿下御臨席の下に行われた文部大臣塩川正

十郎氏の祝辞、選考委員長和達清夫氏の報告、日本学術振興会長澤田敏男氏の式辞もそれぞれに立派なものであるが割愛の外なし。はるかに小寺先生のご長寿を祈りつゝ。

(小寺廉吉先生ご近影と基本資料の提供者は富山地学会長・本学教授藤井昭二氏。その他の資料提供者は野尻文書係長、北日本・富山両新聞)。

追記

私20代の半ば、山口師範(山口大学教育学部)に在任の頃、小寺先生は隣接する山口高商(山口大学経済学部)(共に亀山山麓)にご在職であった。小寺先生と同じ専攻部出身の遙か後輩に経済学者故中山伊知郎博士あり、確か寅年生のはず。

職 員 消 息

《新任者住所》

人文学部

外国人教師 バレストリエリ・エリザベス ブラ
ウネル

工 学 部

文部技官 横田 尚子

《住所変更》

教育学部

助 教 授 横山 泰行

教 養 部

講 師 筒井 洋一

《電話新設》

経済学部

助 手 谷本 雅之

《電話番号変更》

教育学部

事務補佐員 黒澤 浩子

主 要 行 事

本 部

- 5月6日 昭和62年度共通経費内容打合せ
定期健康診断（教育学部）
- 7日 国立大学協会第6常置委員会
（於：国立大学協会）
- 8日 昭和62年度共通経費打合せ
- 12日 昭和62年度文部省北陸地区共同事業体育大会の運営委員会（於：福井大学）
- 13日 定期健康診断（経済学部）
就職に関する講演会（於：教養部4番教室）
- 14～15日 第44回東海・北陸地区国立学校等庶務部課長会議（於：福井厚生年金会館）
- 15日 第2回評議会
全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会幹事会（於：名古屋大学）
- 18日 国立大学事務局長会議（於：学士会館）
昭和62年度第2回授業料等減免選考委員会
第2回補導協議会
- 20日 部課長会議
第2回事務協議会
事務改善委員会
定期健康診断（人文学部、理学部）
- 21日 東海・北陸地区国立大学長会議（臨時）
（於：名古屋大学）
- 22日 第7回総合大学院検討委員会自然科学部会
第3回総合大学院検討委員会
昭和62年度大学・高専奨学生事務協議会・説明会（於：福井フェニックスプラザ）
- 22～24日 第12回体育祭
- 25～28日 県内国立学校事務職員（初任者）研修
（於：富山大学）
- 28～29日 昭和62年度国立学校等経理部課長会議
（於：東京医科歯科大学）
- 29日 日本学術会議第1回中部地方区会議及び科学者懇談会（於：富山大学）
第1回学寮補導委員会
- 29日～ 第32回大学祭（6月3日まで）

人 文 学 部

- 5月6日 事務連絡会
学部入学者選抜方法検討委員会
就職に関するオリエンテーション
- 12日 事務連絡会
- 13日 学部教育実習委員会
大学院委員打合せ会
教授会
人事教授会
人文科学研究科委員会
- 14日 真率会役員会
- 20日 学生定期健康診断
学部コース別対抗ソフトボール大会
- 21～22日 第26回15大学人文系学部長会議
（於：山形大学）
- 29日 施設委員会

教 育 学 部

- 5月1日 学部自然観察実習センター委員会
- 6日 学部教務委員会
- 7～8日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会（於：熱海市）
- 11日 附属学校運営委員会
- 13日 学部教務委員会
学部入学者選抜方法検討委員会
教授会
- 19～20日 附属小学校教育研究発表会
- 20日 拡大将来計画委員会
- 21日 学部大学設置準備委員会
- 21～22日 全国国立大学教員養成学部事務長協議会
（於：福島市）
日本教育大学協会北陸地区技術・職業・職業指導部門研究協議会（於：富山市）
- 22日 学部職業補導委員会
- 22～23日 日本教育大学協会北陸地区会美術部門研究協議会（於：七尾市）

- 23日 全国国立大学附属学校連盟校園長会
(於：東京都)
- 24日 全国国立大学附属学校連盟代議員会
(於：東京都)
- 26日 学部予算委員会
- 27日 人事教授会
教授会
- 28日 附属学校(園)合同運動会
- 28～29日 日本教育大学協会北陸地区評議員会
(於：長野市)

- 18日 学科主任会議
- 19日 学部教育実習委員会
- 20日 学生定期健康診断
国立15大学理学部事務長会議
(於：山形大学)
- 21日 教育実習オリエンテーション
- 21～22日 国立15大学理学部長会議(於：山形大学)
- 27日 教官会議

工 学 部

経 済 学 部

- 5月7日 学部施設整備委員会
- 11日 学部職業補導委員会
- 13日 学部入学方法検討委員会
学部教務委員会
教授会
学生定期健康診断
- 18日 学部補導委員会(持ち回り)
- 20日 改組経過報告書作成委員会
経済学部及び教養部教務委員会委員との合同会議
学部教務委員会
- 21～22日 昭和62年度春季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議(於：富山第一ホテル)
- 25日 学部施設整備委員会
- 27日 学部将来構想検討委員会
学部教務委員会(持ち回り)
教授会
親睦会総会

- 5月6日 教授会
工学研究科委員会
- 7日 学部改革検討委員会
- 11日 係長連絡会
学部改革検討委員会
- 13日 学科主任会議・学部改革検討委員会合同会議
入学試験検討委員会
- 18日 学科主任会議
- 20日 教授会
- 25日 地域共同研究センター運営委員会

教 養 部

- 5月6日 教授会
- 13日 補導委員会
- 14～15日 全国国立大学教養(学)部長会議・同事務協議会(於：長崎大学)
- 20日 施設整備委員会
教務委員会
- 22日 紀要委員会
- 27日 教授会
- 29日 推薦委員会
補導委員会

理 学 部

- 5月6日 事務連絡会
学科主任会議
- 8日 学部入学試験改善委員会
- 12日 事務連絡会
- 13日 教授会
理学研究科委員会
人事教授会
- 14日 真率会役員会

附 属 図 書 館

- 5月8日 係長事務打合せ
- 18日 学術情報システム特別委員会ネットワーク
専門委員会(於：東京大学附属図書館)
- 20日 昭和62年度国立大学附属図書館事務部課長

会議（於：東京医科歯科大学）
第3回学術情報センター・シンポジウム
（於：日本学術会議）

22日 係長事務打合せ会

26日 定期胸部X線間接撮影（各学部男子学生）
28日 定期胸部X線間接撮影（各学部男子学生）

トリチウム科学センター

保健管理センター

5月6日 定期健康診断（教育学部3・4年生，専攻
科生）
13日 定期健康診断（経済学部3・4年生，専攻
科生）
15日 昭和62年度全国大学保健管理協会東海・北
陸地方部会幹事会（於：名古屋大学）
20日 定期健康診断（人文・理学部3・4年生，
大学院生）
21日 定期胸部X線間接撮影（各学部女子学生）
22日 定期胸部X線間接撮影（各学部女子学生）
25日 定期胸部X線間接撮影（各学部女子学生）

5月7日 研究審査専門委員会
8日 特別健康診断
18日 運営委員会
25日 教育訓練
28日 選考委員会

経営短期大学部

5月14日 あゆみ編集委員会
教授会
19日 授業料等減免選考委員会
26日 後援会総会

- ◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!
- ◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

昭和62年度全国安全週間

昭和62年7月1日～7日

——自主的に取り組もう職場の安全

進めよう設備と作業の改善——

資 料

昭和61年度卒業生就職状況

・産業別

(昭和62年 5月 1日現在)

産業別		学部					
		人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部	合計
農 業							
林 業							
漁業・水産養殖業							
鉱 業							
建 設 業		2	1	9		2	14
製 造 業	食 料 品	1		10	6	2	19
	織 維					1	1
	印 刷	2	1	3	1		7
	化 学 工 業			2	14	10	26
	石油・石炭製品				2		2
	鉄 鋼					3	3
	非 鉄 金 属					4	4
	金 属 製 品			6	2	13	21
	一般機械器具	1	1		2	20	24
	電気機械器具	1		8	11	65	85
	輸送用機械器具	1		4	2	26	33
	精密機械器具		1	1	3	3	8
	そ の 他	6		6	5	30	47
小 計		12	3	40	48	177	280
卸小 売 業	商 事 ・ 貿 易	9		24	1	9	43
	百貨店・スーパー	9		20	2		31
	小 計	18		44	3	9	74
金 融 保 險	銀 行	2		20			22
	信用 金 庫 組 合		1	6			7
	保 險 業	2	2	10			14
	証券・商品取引	5		19		1	25
	小 計	9	3	55		1	68

産業別		学部					
		人文学部	教育学部	経済学部	理学部	工学部	合計
不 動 産 業							
運 輸 ・ 倉 庫 業				6	1	6	13
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道		1		2		2	5
マ ス コ ミ	新 聞 ・ 出 版	3	1	4			8
	ラ ジ オ ・ テ レ ビ			1		1	2
	小 計	3	1	5		1	10
サ ー ビ ス	広 告 ・ 観 光 業	4		3			7
	医 療 保 健 業	2		2			4
	非 営 利 的 団 体		4	3			7
	公 共 企 業 体 等						
	小 計	6	4	8			18
教 育		37	157	5	39	1	239
公 務	国 家 公 務 員	6	2	9	2	2	21
	地 方 公 務 員	10	7	28	6	3	54
	小 計	16	9	37	8	5	75
上 記 以 外 の も の		33	16	53	40	13	155
合 計		137	194	264	139	217	951

規 模 別 就 職 先	従業員数						
	大企業 (300人以上)	47	8	164	58	154	431
	中企業 (30~299人)	28	9	42	30	50	159
	小企業 (29人以下)	9	6	5	4	6	30
企 業 以 外		53	171	53	47	7	331

・地域別

地方 学部	北海道	東 北	関 東	中 部		近 畿	中 国	四 国	九 州	海 外	合 計
				富山県	その他						
人文学部			26	66	41	4					137
教育学部			2	172	18	2					194
経済学部			64	85	92	20	3				264
理 学 部			29	60	36	14					139
工 学 部	1		41	82	72	21					217
合 計	1		162	465	259	61	3				951
%	0.1		17.0	48.9	27.2	6.4	0.3				100

昭和62年度国家公務員安全週間

昭和62年7月1日～7日

—— “災害” は “安全” の仮面で

潜んでる——

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3 1 9 0
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1 7 5 5(代)